

# felissimo fund report

2009年度  
フェリシモ 基金活動報告書

{ 2009.3 - 2010.2 }

# 2009年度 フェリシモ基金活動のご報告

フェリシモ基金活動は、お客さまおひとりおひとりの善意を基金というかたちでお預りし運営しています。

たくさんのご参加、本当にありがとうございました。

感謝の気持ちとともに、ここに2009年度の全基金活動をご報告させていただきます。

はじめはひとりでも、小さなことも集まれば大きな夢の力になります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

## 2009年度基金総額

2009年3月～2010年2月

みなさまからお寄せいただいた基金の収支をご報告します。

期首残高	¥	87,026,933	
収入	¥	68,207,889	
支出	¥	28,880,841	
期末残高	¥	126,353,981	(2010年2月末現在)

\* 収入の一部には、前期までに拠出した基金の返金(¥448,092)が含まれています。

毎月一口100円の寄付による参加をいただき、集まった基金で、国内外での森づくりを進めています。

2009年度は、お客さまから1,412,649円をお預かりし、次の3事業に10,889,163円を拠出しました。

11番目の森づくりの延長事業として、2009年度はインド東部のジャールカンド州、オリッサ州、西ベンガル州にアカシア系樹木や実なる樹木など、新たに約204万本を植林しました。このインドの植樹事業は、2007年度からの3カ年計画で進められ、2009年度はその最終年度にあたります。この3年間で1,800ヘクタールの土地に285万本を植樹する当初計画に対し、2,896ヘクタールの土地に約530万本の植林を実現し、計画を大幅に上回る成果となりました。(拠出先：タゴール協会)

35番目の森づくりとして、森林の再生と町を訪れる人との交流による新たな里山文化の創造をめざし、山形県最上町にナナカマド、トチノキ、カツラ、ブナなど10種類、2,600本を植樹しました。(拠出先：最上町総務課まちづくり推進室)

36番目の森づくりとして、秋田県湯上市にコナラ、ケヤキ、ナナカマド、ブナなど郷土樹種を中心に11種類、3,250本の苗木が植えられました。以前、町営のスキー場として使われ、その廃止によって荒地となっていた場所に彩り豊かな里山の再生を目指しています。(拠出先：国土緑化推進機構)



## フェリシモの森基金

### TOTAL

フェリシモの森基金スタート以来、集まった基金は累計で3.5億円を超え、国内外36カ所で約1,722万本の植林が実現しています。

\* フェリシモの森基金は、ウェブサイトもしくは次月ご注文用紙にてお申し込みいただけます。  
[http://www.felissimo.co.jp/f/m\\_entry/](http://www.felissimo.co.jp/f/m_entry/)

\* 「森活部」が誕生！  
「フェリシモの森基金」の活動をさらに広げ、お客さまとともに森を守り、育てるために「森活部」(専用ウェブサイト)ができました。  
詳しい活動内容は、  
<http://www.felissimo.co.jp/j/change/>  
をご覧ください。

## 2009年度 インドからの報告

インドは、9カ月にわたる乾季の影響で、いったん森林が伐採されてしまうと自然緑化が進みません。さらに、伐採された地域に人や動物が入り込んでしまうため、土地の荒廃がさらに進む状況です。そのため、貧しい地域では、森林の喪失が農耕地の荒廃につながるなど、地域住民の生活を脅かす悪循環となっています。フェリシモの森基金では、1997年よりインドのジャールカンド州・オリッサ州・西ベンガル州の3州において、森林の保護、緑化の促進を行っている現地のNGOタゴール協会とともに森づくりを進めています。

### 視察レポート：インドの森づくりを実践して見えたもの

1997年にインドで植林を開始して、2009年度で12年が経過しました。見渡すかぎり荒地に囲まれていた農村は、豊かな緑につつまれ、広大な荒地は耕作地へとその姿を変えています。そして、農村に住む現地の人々の生活にも大きな変化が表れています。これまで家事で使う燃料を確保するために、一日かけて遠方まで足を延ばしていた女性たちは、今では森林の落ち葉を燃料として活用することができ、子供の教育や家族と共に過ごす時間を持つようになりました。また、荒地地帯にはほとんど仕事の手がかりがなく、時間を持って余っていた男性たちは、内職や家庭での仕事を見つけ、生き生きと働く姿がそこにあります。長年におけるタゴール協会との対話を通して、その地域に住む人々が当事者として自ら植林を行い、それを育てていくことではじめて緑化は達成されるのであり、住民の総意としての主体的な参画なしには、緑化はありえないことを深く学びました。また、村人は、植林された地域の木々の生長を見守る中で、大きな達成感と手ごたえを感じ、市場で販売する商品を作るなど、生活においての主体的な創意工夫を行うようになっていきました。今回の視察を通じて、当初の植林の目的であった緑化自体は真の目的ではなく、緑化を通じた住民の意識の変革や受容能力の高まり、そして彼らの潜在的な能力の開発こそが、より重要だったことに気づくことができました。こうした人々の意識の変革、行動の変化、良心の発達を大きな目的として、これからさらにフェリシモの森づくりを進めていきたいと思っています。



植林した木々は力強く成長しています。



荒地は森へと姿を変えています。



森林の落ち葉は村人の貴重な資源になります。



森からの恵みは男性に働く機会を生み出しています。

## フェリシモ地球村の基金

### TOTAL

フェリシモ 地球村の基金スタート以来、集まった基金は累計で2億円を超え、世界50カ国146の活動を支援することができました。

\* フェリシモ 地球村の基金はウェブサイトもしくはフェリシモコレクションとともにお申し込みいただけます。  
[http://www.felissimo.co.jp/f/c\\_entry/](http://www.felissimo.co.jp/f/c_entry/)

\* 「地球村プロジェクト」が誕生！  
フェリシモ「地球村の基金」の活動をさらに広げ、世界のさまざまな人々との繋がりを育むために「地球村プロジェクト」(専用ウェブサイト)ができました。  
詳しい活動内容は、  
<http://www.felissimo.co.jp/j/change/>  
をご覧ください。

約45%の小学校で校舎内に給水設備を設置できていないスーダンのエクアトリア州において、子供たちに安全で清潔な水が供給できるよう、校舎内の井戸の設置活動を支援しました。(助成団体：難民を助ける会)

タイ～ラオス国境地域に位置するウボンラーチャターニー県ケマラート郡において、深刻化するHIV/エイズの問題に取り組むため、エイズ予防に関する啓発用パンフレットの制作および予防啓発用DVDの作成を支援しました。(助成団体：シェア＝国際保健協力市民の会)

水を確保するために一日に数時間を費やさなければならないスーダン南部ジョングレイ州トックイースト郡において、現地スタッフが迅速に井戸の設置を行えるよう水質検査機器を提供しました。(助成団体：ケア・インターナショナル ジャパン)

毎月一口100円の寄付による参加をいただき、集まった基金で貧困からの自立、自然災害などからの救済、復興の応援など、世界各地で進められている活動を支援します。

2009年度は、お客さまから11,577,491円をお預かりし、次の17事業に総額10,270,000円を拠出しました。

国民の15.6%がHIVに感染しているといわれるジンバブエにおいて、コミュニティ保健委員会ならびにHIV/エイズ患者サポートグループを設立し、HIV感染者と住民との関係を改善し、患者の支援体制を整備する活動を支援しました。(助成団体：メドウサン・デュ・モンド ジャパン)

アフガニスタンのカイラアバッド村において、屋外で勉強している小学校の子供たちのために、天候に左右されず毎日授業を受けることができるよう校舎の建設(セメント・レンガ・鉄筋等の資材費の一部)を支援しました。(助成団体：シャンティ国際ボランティア会)

南アフリカ共和国において、給食センターで家庭菜園研修を実施し、菜園をつくりました。そこで栽培した野菜を給食に使うことにより、エイズで親を亡くした子供たちに健康的な食事を継続的に提供できる環境づくりを支援しました。(助成団体：日本国際ボランティアセンター)

旧ソ連の崩壊とともに慢性的な失業といった厳しい生活事情から、家庭内暴力が蔓延するモンゴル国において、中央県ウランバルドル市で30名に社会福祉教員及び社会福祉実務者への能力向上研修の実施を支援しました。(助成団体：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン)

ソマリア南部の情勢の悪化から難民が急増しているジブチ共和国において、国籍の違いから一般の医療施設で診療が受けられない難民を救済するため、医療活動が難民キャンプで実施できるよう医療器具・医薬品・医療消耗品を提供しました。(助成団体：AMDA社会開発機構)

バングラデシュの南部沿岸地域とインド東北部を直撃したサイクロン「AILA(アイラ)」により被災した地域へ緊急支援物資(食料品・医薬品)の配布活動ならびに医療班による伝染病予防活動を支援しました。(助成団体：タゴール協会)

言語問題や深刻な職不足などによって社会的・経済的に困難な生活を送る帰還民をかかえるアンゴラにおいて、50名の帰還民の経済的自立の促進を目指した縫製コースの実施を支援しました。(助成団体：難民を助ける会)

ミャンマー連邦メティラ郡において、高利貸しからの債務超過、病気や事故等緊急出費への対応による財産の売却等による貧困の悪循環からの脱却を目指し、貧困層女性に向けた小規模無担保融資とともに保健教育、職業訓練、健康保険、貯蓄の5つのパッケージサービスを包括的に提供する「生計向上プログラム」の実施を支援しました。(助成団体：AMDA社会開発機構)

妊産婦死亡率が極めて高いネパールの最東部のジャバ郡にあるメチ病院において、超音波診断装置の設置による周産期ケア実施体制の整備を支援しました。(助成団体：AMDA社会開発機構)

カンボジアのプノンベン市のスラム街で極度の貧困で苦しむローコンバオ地域の2つの保育所において、壊れた椅子や机などの修理や買い替え、給食の提供ならびに保育者研修を通して、子供が安心して過ごせる場所づくりを支援しました。(助成団体：幼い難民を考える会)

妊産婦および新生児の死亡率が高いネパールの山岳地域において、新生児救急医療が実施できる環境を構築するための医薬品、医療機器を提供しました。(助成団体：メドウサン・デュ・モンド・ジャパン)

20年以上もの内戦が続く南部スーダンにおいて、橋や道路が崩壊したため、車両整備環境を整え、元難民が故郷で生活を再建する「再定住」をサポートする活動を支援しました。(助成団体：日本国際ボランティアセンター)

ベトナムを直撃した台風16号「ケツアーナ」により被災したクワンチ省において、農地・漁村が機能を失ったため、食糧不足に陥った遠隔地の302世帯の貧困家族に食料品を提供しました。(助成団体：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン)

大型の台風により大きな被害を受けたラオスのセコン県都ラムール郡において、自宅全壊または一部損壊などの理由で学校へ行けなくなった子供たちに制服や文房具を支給し、被災した学校の修理を支援しました。(助成団体：エファジャパン)

## 手をとりあうこと：アフガニスタン学校建設事業

アフガニスタンでは2001年末にタリバン政権が崩壊し、暫定政権樹立後、教育省が実施した「バック・トゥ・スクール」キャンペーンが起爆剤となって、2002年～2005年間に約400万人の子供が学校に通うようになりました。一方、急激な生徒の増加に学校環境整備が間に合わないため、子供たちは屋外で勉強していました。そこで、アフガニスタンのカイラアバッド村に小学校を建てるプロジェクトを発足し、フェリシモ地球村の基金からもその費用の一部を拠出しました。学校建設は2009年6月からスタート、7月には基礎工事が完了し、8月に鉄筋工事、9月にレンガが積み、10月に床や屋根の設置、そして11月には窓の設置と塗装が完了し、12月には校舎の外観が完成しました。

建築の前段階から、地域コミュニティと学校建設について協議を重ねた結果、長老をはじめ住民の理解を得ることができたばかりか、村人自らが資材の提供や建築のための労働に参加するなど、村人が主体となってこの小学校の建設が進められました。フェリシモ地球村の基金賛同者のみなさま、現地で活動するNGOの方々、そして現地の方々の想いが重なり、子供たちの笑顔が確かなかたちで育まれています。(シャンティ国際ボランティア会 アフガニスタン事務所長 三宅 隆史さま)



◎シャンティ国際ボランティア会 外でござを敷いて勉強する女子児童



◎シャンティ国際ボランティア会 学校建設着工前に行われた祈禱式の様子



◎シャンティ国際ボランティア会 竣工式では、カイラアバッド村の住民代表が、「日本のご支援に感謝します」と語った。



◎シャンティ国際ボランティア会 完成した校舎 8つの教室と3部屋(校長室、職員室、図書室)



◎シャンティ国際ボランティア会 新校舎で学ぶ子供たち

## フェリシモ 日本伝統生活文化基金

毎月一口100円の寄付による参加をいただき、集まった基金で、日本の生活に宿る伝統文化の保護と継承を支援しています。

2009年度は、お客さまから101,500円をお預かりしました。  
お預かりした基金は、**簾庵（ちいおり）**トラストの日本伝統生活を守る活動に役立てられます。

徳島県三好市東祖谷（いや）にある築三百年の「簾庵（ちいおり）」は、1973年から約13年アレックス・カーさんが多くの人々の協力を得ながら修復を進めた古民家。  
日本伝統生活文化基金は、「簾庵（ちいおり）」の茅葺（かやぶ）き屋根の修復を支援します。



©ちいおりトラスト  
「簾庵（ちいおり）」は角地に残る日本の美しい暮らしを守り、高める活動の拠点になっています。



©ちいおりトラスト  
総葺き替えに2,000束のスキが必要。多くの人の協力が未来へとつながります。



©ちいおりトラスト  
茅葺（かやぶ）き屋根の修復には材料集めから、山に植生するスキを刈り取ります。

アレックス・カー/Alex Kerr  
1952年アメリカ生まれ。64年に初来日し、横浜に2年間在住後、帰国。エール大学で日本学、オックスフォード大学で中国学を専攻。71年にヒッチハイクで日本一週の旅を敢行中に茅葺（かやぶ）き民家に出会い、73年にその再生活動を始める。現在は主に京都とタイ・バンコクを拠点とし、日本と東アジアの美術館蒐集（しゅうしゅう）、文化および環境改善のコンサルタント、執筆、講演、通訳など多方面で活躍。94年『美しい日本の残像』で新潮学芸賞受賞。近著は現代日本の問題の根源に迫る『犬と鬼』。

## フェリシモ アクティビティーズ

TOTAL  
フェリシモアクティビティーズによる基金は、スタート以来累計で、2,630万円を超え開発途上国の生産者の自立支援や子供たちの支援に活用されています。

カタログ『ecolor [エコラ]』に掲載のフェリシモ アクティビティーズの商品の一部を基金付きで販売しています。



2009年度は、お客さまから2,020,804円をお預かりしました。  
お預かりした基金は、次の3事業に全額を拠出します。

ザ・チルドレン・オブ・セブファンデーションに寄付し、フィリピン・セブ島のストリートチルドレンとなった子供たちの衣食住、教育、医療などの総合的な支援に活用されています。

ユネスコ寺小屋基金として、日本ユネスコ協会連盟へ寄付し、読み書きできない子供や大人への識字教育を支援します。

ADEHPRIに寄付し、ペルーの貧困地域の農民への技術指導や栄養指導などの自立を支援します。

### セブ島の子供たちの笑顔キラキラしたものに

セブ島では生活苦を抱える親のもとに育つ子供は、日々の食事も自分で調達しなくてはなりません。食べものを見つけるためゴミ捨て場をあさったり、家もなく犬小屋で寝るといった子もいます。ある子は商店からお金を盗んで捕まってしまう。その女の子は自治体に保護され、ソーシャルワーカーのもと、バリアン・ドロップイン・センター・フォー・ストリート・チルドレンという施設へ行くことになりました。センターについた当初、彼女の健康状態や衛生状態はとても悪く、極度の空腹状態。まずは身体のケアがなされ、食事も提供され、生まれてから経験したことのない愛情とケアが彼女に注がれました。さらに教育プログラムも受けることができ、新年度からは学校へ進学します。  
今では肌つやも健康的になり、センターの子どもたちから「プリンセス」と呼ばれるまでに！手厚い支援があったからこそ、彼女の人生は生き生きと輝きだしたのです。

## mama.f スマイリー基金

TOTAL  
mama.f スマイリー基金は、2003年のスタート以来累計で1,400万円を超え、世界10カ国で子供たちを支援することができました。

子供を持つプランナーmama.fの「世界中すべての子どもたちが健康で、楽しい毎日が過ごせるように」という思いから、基金付きで商品販売しています。

2009年度は、お客さまから549,561円をお預かりしました。  
お預かりした基金は、次の3事業に総額1,000,000円を拠出します。

20年以上続いた内戦により、子供たちの半数が慢性的な栄養失調に苦しむカンボジアの子供たちに「幼い難民を考える会」を通じて10円給食活動を支援します。

インドの子供たちに「ACE（エース）」を通じて直接子どもたちを児童労働から保護、予防し、教育が受けられるようにする取り組みを行う「子どもにやさしい村プロジェクト」を支援します。

フィリピンのマニラ首都圏でのストリートチルドレンをはじめとする恵まれない青少年たちに「国境なき子供たち」を通じて自立支援施設「若者の家」における安定した衣食住と教育訓練を支援します。



訪ねた先はカンボジアのスパイバ村保育園。子供たちは、みんなで元気にお歌を歌ったりしていました。さらにローコンバオ村保育園も訪問。この地区は貧困に苦しむ家族が多く、NGO支援のもと就学前の子供たちを預かり、給食を食べさせて母親が就労できるようにしています。そんな保育園の給食を支援する「10円給食」基金にmama.fスマイリー基金は協力しています。毎日の給食を楽しむ子供たちの笑顔はきらきらと輝き、お母さんたちからも「保育園に通うようになって、子供たちがとても元気になった」という声が挙がっているそう。みなさまのご支援が子供たちの笑顔につながっています。

## フェリシモこども基金

TOTAL  
NUSY ラブ&ピースシリーズを含むフェリシモこども基金は、2001年のスタート以来累計で5,740万円を超え、世界各地の子どもたちを支援しています。

\* NUSY ラブ&ピースシリーズは、ウェブサイトにてお申し込みいただけます。  
<http://www.felissimo.co.jp/nusy/nusy911/>

## haco. ピース・バイ・ピース コットン基金

TOTAL  
はな\*はな\*みどり基金は、2008年のスタート以来累計で280万円を超え、世界の植林活動を支援しています。

## トリビュート21基金

TOTAL  
トリビュート21基金は、1996年のスタート以来累計で9,920万円を超え、ユネスコ本部をはじめ118の団体に寄付しました。

\*トリビュート21プレートは、ウェブサイトにてお申し込みいただけます。  
<http://www.felissimo.co.jp/t21/>



2001年に起きた米国同時多発テロ事件をきっかけに、子供たちにしあわせな未来を残そうとメッセージを発信して基金もできる「nusy ラブ&ピースメッセージTシャツ」を発売し、集まった基金を世界の子供たちのための活動に寄付しています。

2009年度は、お客さまから6,008,600円をお預かりしました。

お預かりした基金は、子供たちにしあわせな未来を贈る活動として、インドで活動するNGO団体と協力の上、インドの子供たちの教育支援に使われる予定です。



綿花栽培で衰弱した土地を救い、未来の子供たちに元気な大地を残すために始動したプロジェクトです。インド産オーガニックコットンから作られる製品に基金をつけて販売し、集まった基金をインドでオーガニックコットン栽培を通じた農村の自立支援、子供たちの教育支援などの活動に寄付します。

2009年度は、お客さまから4,454,010円をお預かりしました。

「あなたが贈るお花が世界で植えられる植物とつながりますように」という願いをこめて、カタログ『しあわせの母の日』に掲載の商品をはじめ、一部、お花・植物を基金付きとして販売し、集まった基金で世界の植林活動を支援しています。

2009年度は、お客さまから1,217,298円をお預かりしました。  
お預かりした基金の全額は、タゴール協会のインドの森づくりに活用されます。

「世界の子どもたちにしあわせを贈るプレート」として各界で活躍する著名人や一般公募によって選ばれたお客さまがデザインしたトリビュート21プレートや関連商品を基金付きで販売しています。



2009年度は、お客さまから1,615,040円をお預かりし、中国友好和平発展基金に374,163円を拠出しました。  
拠出した基金は、中国・四川省大地震で被災した子供たちの給食費・教科書代・寮生の宿泊費に活用されます。

### レバノン共和国にドリームセンターが完成しました。

2009年、レバノン共和国に、現地NGO「アローウナ」の協力のもと、新たにドリームセンターがオープンしました。参加者はレバノン南西部のサイタ近郊出身の8歳から16歳の子供たちです。子供たちの国籍はレバノンに限らず、シリア、エジプト、そしてパレスチナなどが含まれます。この地域では児童が学校に通わず幼い頃から労働力としてかり出されることが多く、児童たちは清潔で安全な環境で成長し自己を発見することができません。家庭の多くは生きるための必要最低限のものしか児童に与えられず、芸術文化面での情操教育を奨励する余裕が全くありません。

そこで、チルドレンズ・カルチャープログラムを設立し、ダンス、演劇、音楽、芸術のクラスを設け、児童の情操教育の場を提供しています。このプログラムは児童たちの相互教育の一貫を担い生徒のクリエイティブな精神面の成長を助けます。

子供たちはこのプログラムにおいて芸術を通じ、自国や他国の文化について学ぶことができます。また、芸術を学ぶことは自己の内面を学ぶ機会にもなり、才能や技術の自己発見にもつながります。芸術活動はセラピーとしての影響があり、生徒が日々対峙する問題を因習にとらわれず自由に表現することが可能になります。



## メリーで社会貢献

### TOTAL

メリーで社会貢献は、2002年のスタート以来累計で1億円を超え、それぞれの活動を支援することができました。

\* メリーで社会貢献は、フェリシモコレクションのお買い物でお贈りする「フェリシモメリー(mr)」にてお引き換えいただくことができます。

\* メリーで社会貢献は、ウェブサイトにてお申し込みください。なお、最新情報は随時ウェブサイトにてご確認ください。  
http://www.felissimo.co.jp/merry/

フェリシモが発行するお買い物ポイント“フェリシモメリー”でプレゼントを選ぶ代わりに、社会性ある活動に寄付するプログラムです。集まったメリーの相当額をそれぞれの活動に寄付しています。



2009年度は、お客さまから23,065,380円をお預かりし、次の事業に総額7,099,110円を拠出しました。

「盲導犬育成支援」では、全国盲導犬施設連合会を通じて、全国の8カ所の盲導犬育成施設に寄付しました。それぞれの施設で盲導犬の育成や活動の啓蒙、また、引退した盲導犬たちの支援に活用されます。

「紛争地域の子どもたちへの医療活動支援」では、ドイツ国際平和村に寄付しました。紛争地域など海外から受け入れた子供たちを治療したり、現地での医療支援を行いました。

「ブルキナファソの子どもたちへの栄養改善事業支援」では、ハンガー・フリー・ワールドに寄付しました。西アフリカの国、ブルキナファソの乳幼児妊産婦栄養改善事業に活用されます。

「地雷廃絶活動支援」では、難民を助ける会に寄付しました。地雷回避教育ならびに地雷被害者への自立支援活動に活用されます。また、基金の一部は、イギリスの地雷除去活動専門NGO The Halo Trustを通じて、地雷除去活動に活用されます。



©全国盲導犬施設連合会  
訓練を受ける盲導犬



©ドイツ国際平和村  
ルワンタの子供たち



©ハンガー・フリー・ワールド  
ブルキナファソの子供たち



©難民を助ける会  
地雷除去作業の様子



©AMDA社会開発機構  
エイズ予防のためのパンフレットの配布準備をするボランティア



©メイク・ア・ウィッシュ・オブ・ジャパン  
夢がかなった！フロリダのディズニーランド



乳がんで亡くなる女性を少しでも減らしたいという思いから、カタログ『iedit[イディット]』に掲載の商品の一部を基金付きで販売し「ピンクリボン運動」を支援しています。

2009年度は、お客さまから152,677円をお預かりしました。お預かりした基金は、日本対がん協会（ほほえみ基金）に全額を拠出します。

## ピンクリボン基金

## その他 基金付き商品の 販売による基金

「四川省地震被災者支援基金」より集まった基金156,605円ならびにカタログ『Lovits [ラヴィッツ]』に掲載の一部商品を基金付きで販売、集まった基金91,800円を中国友好和平発展基金に拠出しました。これは、2008年5月に発生した四川省大地震で被害を受けた子供たちの給食費・教科書代・寮生の宿泊費に活用されます。

## 神戸学校

### TOTAL

神戸学校の参加料による寄付は、2000年の基金スタート以来累計で1,030万円を超え、これまでに桃栲育英会ならびにあしなが育英会神戸レインボーハウスに寄付することができました。

\* 神戸学校は毎月開催しています。最新情報はウェブサイトにてご確認ください。  
http://www.felissimo.co.jp/kobe/

毎月1回、テーマにふさわしいゲストを神戸にお招きしてレクチャーやワークショップを開催する神戸学校は、集まった参加料の全額を寄付しています。

2009年度は、お客さまから679,900円をお預かりしました。お預かりした基金の全額は、あしなが育英会神戸レインボーハウスに拠出します。

2009年度、神戸学校は全12回開催しました。

2009年度ゲスト

- ・ 山口 浩さん (神戸北野ホテル 総支配人・総料理長)
- ・ アニー シャゾットさん (芸術家・画家)
- ・ 朝原 宣治さん (大阪ガス株式会社・元陸上選手)
- ・ 寺田 千代乃さん (アートコーポレーション株式会社 代表取締役社長)
- ・ 片岡 愛之助さん (歌舞伎役者)
- ・ 永井 一史さん (株式会社HAKUHODO DESIGN代表取締役社長・クリエイティブディレクター)
- ・ 浜島 直子さん (モデル)
- ・ 林 成之さん (医学博士・脳神経外科医)
- ・ 青木 新門さん (詩人)
- ・ 谷川 浩司さん (棋士)
- ・ 臼井 真さん (市立明親小学校教諭 「しあわせ運べるように」作者)
- ・ 奥山 佳恵さん (女優・タレント)

## 株主優待 ハッピーサンタクロース

### TOTAL

株主優待ハッピーサンタクロースは2006年にスタート以来、累計で80万円を超え、さまざまな活動を支援することができました。

フェリシモの株を100株以上所有される株主のみみなさまに対する株主優待制度としてプレゼントを選ぶ代わりに社会貢献活動を選んでいただくコースです。ご支持いただいた件数の相当額を寄付しています。

2009年度は、お客さまから84,000円をお預かりしました。

お預かりした基金は、全額をACE (エース) に拠出し、インドの子供たちを児童労働から保護し、予防する取り組み「子どもにやさしい村」プロジェクトを支援します。

## 「子どもにやさしい村」プロジェクトの支援に活用されます。

自分の子供がすこやかに成長することは誰もが願うことです。しかし、世界には約2億1800万人の子供が児童労働者として働いています。児童労働者として働く子供たちは、学校にいけなかったり、仕事の原因で怪我や病気をしたりと、子供らしく遊ぶ時間もないまま、日々重すぎる責任を背負わされてからだをすり減らしています。ACE (エース) は、2002年よりインドで「子どもにやさしい村」プロジェクトを実施し、直接子供たちを児童労働から保護、予防し、教育が受けられるようにする取り組みを行っています。現在、インドのラジャスタン州ジャイプル県の2つの農村を支援しています。

\* 児童労働者とは・・・義務教育にあたる年齢にもかかわらず学校に行かず働いている、あるいは法律で禁止された危険な労働について18歳未満の子供のことを指します。



©ACE  
職業訓練を受ける母親や女性たち (女性が職業訓練を受けて収入を得ることにより、子供の教育費をまかなえるようになります。)



©ACE  
コーディネーターと話す子供たち



©ACE  
子供村議会の女の子たち



©ACE  
元気に学校で学ぶ子供たち

## 収集ボランティアによる支援活動

ベルマークならびに書き損じはがきを全国のお客さまよりお送りいただき、各種支援活動に生かしています。

2009年度は、集まった書き損じはがきが1,272枚を切手に交換し、その金額に相当する52,513円を日本ユネスコ協会連盟の世界寺小屋基金に寄付しました。

\* ベルマークならびに書き損じはがきをフェリシモまでお送りください。

<送り先>  
〒650-0035 神戸市中央区浪花町59 フェリシモ基金事務局 宛

## フェリシモ ハッピートイズ プロジェクト

### TOTAL

フェリシモハッピートイズプロジェクトでは、1997年のスタート以来、34,000個を超えるハッピートイズが誕生し、日本を含む33カ国の子供たちへ寄贈しています。

全国のお客さまに思い出の布や毛糸を使って毎年新しいテーマとともに発表されるキャラクターぬいぐるみ「ハッピートイズ」を手づくりしていただくプロジェクト。誕生したハッピートイズは笑顔の親善大使として国内外の子供たちに寄贈しています。

2010年度は、計1,027個のハッピートイズを国内外の子供たちに寄贈しました。(2009年3月1日～2010年5月31日現在)

<寄贈先>

- パレスチナの子供たちへ (協力団体: Culture and Free Thought Association/ユナイテッドピープル)
- スリランカの子供たちへ (協力団体: スリランカ子供基金 パウラ)
- ジブチの子供たちへ (協力団体: AMDA社会開発機構)
- フィリピンの子供たちへ (協力団体: 国境なき子どもたち/伊藤忠商事)
- ザンビアの子供たちへ (協力団体: AMDA社会開発機構)

\* 2010年度は、新たに3,875体の元気なソウさんが誕生しました。

\* フェリシモハッピートイズプロジェクトの情報はウェブサイトにてご案内しています。なお、新しいキャラクターは毎年初夏に発表しています。最新情報はウェブサイトをご確認ください。  
http://www.felissimo.co.jp/toys/



## フェリシモ 基金活動について

本報告書に記載しています活動は、  
お客さま、お取引先さま、株主のみなさま、従業員、現地で活動を行う団体、個人など  
活動に関わるすべての人々によって支えられています。  
本当にありがとうございます。  
ひとりひとりの力は小さくても、それぞれの思いを重ねることで、  
たくさんの夢を実現しています。  
これからも、みなさまの思いを生かした活動を展開していきたいと考えています。  
なおフェリシモでは、おひとりおひとりのお気持ちを  
「全額、直接的な支援活動に生かす」を原則とし、報告書発行などの  
広報活動や基金事務局の運営費用等はフェリシモが負担しています。  
今後ともどうぞよろしくお願いたします。

## ご意見・ご提案について

フェリシモの基金活動についてのご意見、ご提案をお寄せください。  
<http://www.felissimo.co.jp/otayori/>

## 2009年度 基金拠出先一覧

すべての基金の拠出先です。  
2009年度は、国内外の20団体の活動を支援しました。

社団法人国土緑化推進機構  
最上町総務課まちづくり推進室  
タゴール協会  
特定非営利活動法人AMDA社会開発機構  
認定特定非営利活動法人難民を助ける会  
特定非営利活動法人全国盲導犬施設連合会  
特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター  
社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン  
ドイツ国際平和村  
特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド

特定非営利活動法人エファジャパン  
社団法人シャンティ国際ボランティア会  
財団法人WWFジャパン  
一般財団法人メイク・ア・ウィッシュ・オブ・ジャパン  
中国対外友協会 中国友好和平発展基金会  
公益財団法人ケア・インターナショナル ジャパン  
特定非営利活動法人メドウサン・デュ・モンド ジャポーン  
認定非営利活動法人幼い難民を考える会  
認定特定非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会  
認定特定非営利活動法人国境なき医師団日本

- \* 報告書本文中では、法人格を省略して紹介させていただきます。
- \* 団体名称は、基金拠出時のものです。

## フェリシモ基金活動ページ

本報告書は、2010年6月現在の情報をもとに作成しています。本報告書は、ウェブサイト上でPDFデータでもご覧いただけます。

<http://www.felissimo.co.jp/kikin/>

2009年度  
フェリシモ基金活動報告書

発行元：フェリシモ基金事務局  
株式会社フェリシモ内  
〒650-0035 神戸市中央区浪花町59番地  
TEL. 078-325-5700（平日9：30～17：00）  
FAX. 0120-055-827  
発行：2010年6月

ともにしあわせになるしあわせ



環境に配慮した印刷物です  
環境負荷を低減し、リサイクルに適した  
紙・印刷工程を採用しています。

FELISSIMO

59 NANIWA-MACHI CHUO-KU KOBE 650-0035 JAPAN

3462